

町政を問う

一般質問

一般質問とは
議員が、定例会において、町の行財政全般にわたって、町に対し疑問点をただし、所信の表明を求めるものです。それにより、現行の政策を変更、是正させあるいは新規の政策を採用させたりするものです。一人の議員の持ち時間は、質問、答弁を含めて100分以内です。

(質問順)

- 1 畠山 美幸**
 質問事項 ◆地域防災計画について
 ◆視覚障害者支援について
 ◆高齢者肺炎球菌ワクチン接種補助について
- 2 長島 邦夫**
 質問事項 ◆ふるさと納税について
 ◆町道の維持管理について
 ◆千年の苑事業について
- 3 青柳 賢治**
 質問事項 ◆幼児教育・保育無償化が嵐山町に与える影響について
- 4 渋谷 登美子**
 質問事項 ◆体罰について
 ◆学童保育の現状について
 ◆第3の居場所事業について
 ◆子育て世代包括支援センターについて
 ◆花見台工業団地拡張について
 ◆今後のゴミ処理について
 ◆幼稚園・保育園無償化について
- 5 松本 美子**
 質問事項 ◆北部交流センターについて
 ◆不登校やいじめについて
 ◆里地・里山の保全と管理について
- 6 吉本 秀二**
 質問事項 ◆町の観光行政について
 ◆ふるさと納税について
 ◆加齢難聴者福祉事業について
 ◆これまでの一般質問に対する追跡について
- 7 川口 浩史**
 質問事項 ◆セイメイファームの臭い、水質、騒音について
 ◆学童保育を指定管理にしたことについて
 ◆企業奨励金について
 ◆学校の統合について
- 8 河井 勝久**
 質問事項 ◆学童保育室における運用について
 ◆「会計年度任用職員」制度は、臨時、非常勤職員の処遇改善と安定雇用の確保となる制度にすべきについて

質問事項のうち、網掛け部分については、記事を掲載してあります。



畠山 美幸 議員

高齢者肺炎球菌ワクチン接種補助を半額程度の考えは現状でお願いしたい

せめて半額程度に
お願いしたい

視覚障害者支援 について

再問 今年度で法定接種終了です。来年度、任意接種補助の継続は、健康いきいき課長続けます。

問 埼玉県内では自己負担が低い市町があります。

答 町長 現状でお願いします。

再問 今年度で法定接種終了です。来年度、任意接種補助の継続は、健康いきいき課長続けます。

問 現在、広報紙、ごみカレンダーの視覚障害者対策について伺う。

答 地域支援課長 町の広報紙について

再問 情報発信の視点で、考えていくべきではないでしょうか。

答 地域支援課長 ボランティアを募集して検討していきます。

再問 spコードの活用も検討に。

答 環境課長 調査研究していきます。

障害者の実態を調査し研究します。

問 肺炎球菌ワクチン接種補助は滑川町3千円、その他市町村は5千円の自己負担です。今後、補助の軽減は。

答 健康いきいき課長 平成21年より町単独で任意接種費用の一部助成を開始。平成26年10月より肺炎球菌の予防接種が法定接種になり、接種費用及び自己負担金について、比企医師会及び比企郡内の市町村と協議の上決定した。財政状況を踏まえ軽減は難しい。

肺炎は日本人の死因の**第3位**

肺炎による死亡者の**約95%**は65歳以上

嵐山町の自己負担額 5000円
(生活保護の方は自己負担なし)
(接種料金 8960円のうち3960円を町が負担します。)

答 環境課長 比企管内の市町村に確認したところ、「視覚障害者用のごみカレンダー」を作成しているところはありませんでした。県内では所沢市で「点字と音声によるごみカレンダー」を作成しています。今後視覚

spコードです
専用の機械で音声化
できます